

映画館が ミニシアターに变身!

新しいコンセプトでオープンした
ミッドランドスクエア シネマ2



映画館がミニ劇場に……。名古屋駅前のシンフォニー豊田ビルに七月十五日、オープンした「ミッドランドスクエア シネマ2」は映画上映のほか講演会や発表会や落語、若者のミニショーにも活用できる新しいコンセプトを打ち出している。全国的にも初めての試みで、映画館が新たな文化情報発信基地になる。その意義、背景を探った。

「昔は、映画館を小屋といい、芝居と映画は同じ場所で披露されていた。二十数年前からシネマコンプレックスの時代となりましたが、インターネットの普及もあり、残念ながら映画、映画館に無関心な人もいます。館内で映画以外のイベントやショーなどを開催することで、映画館に来たことがない人にも足を運んでもらいたいと思います」

こう話すのは松竹マルチプレックスシアターズとともにシネマ2を運営する中日本興業の服部徹社長(五十六歳)。映画館のスクリーン前のスペースの新しい使い方を検討する中で、スペースの有効利用と集客力アップの「二石二鳥」に照準を合わせたチャレンジをすることになったという。

服部社長によると、日本の映画館は一九六〇年ごろの約八〇〇〇



新しいチャレンジを説明する服部社長

スクリーンをピークに減少。九三年に一七〇〇ほどになり、底を打った後、座席数は少ないものの多くの映画の中から見たい作品を選べるシネマコンプレックスが全国的にブームに。最近では